## **28.** 丹沢主稜 (神奈川県西部 標高 1673 m)

丹沢主稜とは蛭ヶ岳を基点に西に檜洞丸から三国山方面に延びる長大な山稜で、文字どおり丹沢の主稜を形成しています。平地の探鳥とは異なり、山岳探鳥では本格的な登山装備と経験が必要になりますが、平地では見ることのできない沢山の鳥と出会える魅力が有ります。主稜は丹沢の中でも起伏が激しく、登山としても上級者コースに入ります。

鳥を見ながら歩くと、コースタイムに比べ2倍近く時間がかかりますので十分な行動計画を立てる事が必要です。なおこでも探鳥のガイドとして説明を立ても探鳥のガイドとしては別途登山の案内書を御参照下さい。新緑の頃は日も長く余裕を持って歩けるので山岳探島にはお勧めの時期と言えるでしょう。この行くルートを紹介します。

小田急線秦野駅からタクシーに乗り、塩水橋の登山口に行きます。塩水橋からですと丹沢山まで最短距離で登れるので、探鳥しながら比較的ゆったりと歩けます。

舗装された林道をミソサザイ、センダイムシクイ、オオルリ、クロツグミなどの囀りを聞きながら歩きます。林道は視界が良く、途中でオオルリの姿も見られるでしょう。アオバトが数羽飛んで行きます。約3時間歩くと林道も終わり、細い登山道に変わります。

薄暗い針葉樹の登山道にはエンレイソウが群落となって咲き、アカハラやキクイタダキに出会えるかも知れません。しばらく歩くと突然明るい緑色の光が目に飛び込んできます。堂平のブナ林です。この辺にはマミジロやゴジュウカラがいます。天王寺尾根にかけてのブナ林にはオオアカゲラもいるので運が良ければ見られます。上空にはクマタカが飛んでいるかも知れません。

丹沢山で一休みして蛭ヶ岳へ向かいます。急な岩場を降りるときに足元に注意してください。ツツドリやカッコウの声を聞きながら蛭ヶ岳山荘へ着きます。山小屋で一泊しますが、ツツジの咲く5月下旬頃は登山者で大変混みますので予め予約をしておいたほうが良いでしょう。夜になると遠



鍋割山稜からの蛭ヶ岳

コースタイム

塩水橋〜堂平〜天王寺尾根〜丹沢山〜蛭ヶ岳(蛭ヶ岳山荘宿泊)〜桧洞丸〜 石棚山〜箒沢地形図:1:25,000 秦野、大山、中川 案内図:丹沢(昭文社)

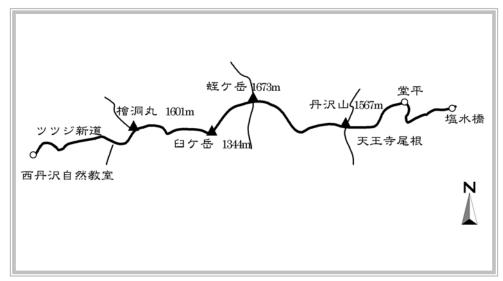
季節	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

くからトラツグミ、コノハズク、フクロウ、ヨタカなどの声が聞こえてきます。

くれます。

秋の主稜もブナ林が黄色く紅葉し素晴らしい季節です。カラ類の混群に出会ったら暫く眺めてみましょう。何種類見られるでしょうか。ウソ、アトリ、マヒワなども見られるでしょう。この頃は日が短いですので、余裕を持った計画を立て慎重な行動をしてください。

冬季は、蛭ヶ岳を降りる道が凍結して滑落する危険性も有りますので十分注意してください。丹沢ではむしろ春先に積雪量が多くなるので、この時期にはアイゼン等雪山の装備が必要です。 (原 一利)



## 観察できた鳥

## 新緑の頃見られた鳥

トビ・ノスリ・クマタカ・アオバト・ジュウイチ・カッコウ・ツッドリ・ホトトギス・コノハズク・フクロウ・ヨタカ・アオゲラ・アカゲラ・コゲラ・キセキレイ・ビンズイ・ヒヨドリ・カワガラス・ミソサザイ・コマドリ・コルリ・ルリビタキ・トラッグミ・クロッグミ・アカハラ・ヤブサメ・ウグイス・メボソムシクイ・エゾムシクイ・センダイムシクイ・キビタキ・オオルリ・コガラ・ヒガラ・ヤマガラ・シジュウカラ・ゴジュウカラ・メジロ・ホオジロ・クロジ・イカル・カケス・ハシボソガラス・ハシブトガラス

## 秋に見られた鳥

ハイタカ・アオゲラ・アカゲラ・コゲラ・キセキレイ・ヒョドリ・カワガラス・ミソサザイ・アカハラ・ウグイス・キクイタダキ・エナガ・コガラ・ヒガラ・ヤマガラ・シジュウカラ・ゴジュウカラ・メジロ・ホオジロ・アトリ・マヒワ・イカル・カケス・ハシボソガラス・ハシブトガラス



- ・行き 小田急線秦野駅下車 タクシー(ヤビツ峠、札掛経由) 塩水橋
- ・帰り 箒沢バス停 富士急行バス JR御殿場線松田駅/小田急新松田駅
- ・交通機関問い合せ先:ページ 117 参照